IXC

決済精算 照合ルール・運用ランブック様式

取引キーと比較の時点、不一致の処理と締めの記録

導入の判断と実行のためのIXC実務資料

2026.09 発行 · 日本語版 · PDF + Excel記入様式

この資料の活用

注文・承認・返金・入金のデータを紐づけ、精算差異の原因と処置、締めの根拠を残します。

精算照合を設計する開発者、決済運用担当者、財務リーダー

目次

01 データの単位と紐づけキーを決めます 3

02 比較の時点と金額のルールを固定します 4

03 不一致を分類し、根拠を確認します 5

04 症状から始まるランブックを作ります 6

05 締めとルール変更を記録します 7

記入と活用

PDFの基準を読み、空欄に実際の条件と未確認の項目を記入します。同じ部門のExcelには資料ごとの記入シートがあります。記入例は、実際の顧客事例や確定した見積もりと区別してお使いください。

出典を明記すれば、社内検討と業務遂行のために引用・改変してご利用いただけます。最新のファイルは www.ixc.co.kr/ja/assets でご確認ください。

データの単位と紐づけキーを決めます

一つの注文に対して、決済試行と部分取消が複数発生することがあります。注文番号一つですべての記録をまとめません。決済事業者と加盟店、元取引と取消・支払の識別子を紐づけ、ファイルごとに一行がどの事象を表すかを先に確認します。

精算データの取得元一覧

ファイル・API・画面	行の単位・到着時点	タイムゾーン・使用通貨・単位	収集担当
注文・承認の明細			
取消・返金の明細			
決済事業者の精算・支払明細			
銀行の入金明細			

取引キー対応表

共通項目	自社システムの項目	決済事業者・銀行の項目	欠落・重複の処理
元取引・加盟店識別子			
取消・返金・支払識別子			
通貨・金額・事象の時刻			

Toss Paymentsは、決済を識別するpaymentKeyと、取消を件ごとに区別するtransactionKeyを提供しています。他の決済事業者のファイルには、別の識別体系が適用される場合があります。収集した元データと共通形式に変換した値を併せて保管し、変換の誤りを確認します。

比較の時点と金額のルールを固定します

照合は、承認、売上計上、返金、精算、入金の時点を揃える作業です。異なる日付の資料を無理に一致させません。精算通貨が異なる場合は、原通貨と換算の記録を区別し、同じ通貨の金額同士を先に比較します。

照合ルール定義表

照合の軸・ルールID	比較対象・時点	一致・差異の条件	後続の処理
注文 ↔ 承認			
承認 ↔ 売上計上			
返金要求 ↔ 取消結果			
元取引 ↔ 取消の累計・残高			
精算予定 ↔ 銀行入金			

> **記入例：部分取消の検算**
>
> テスト用の元取引100,000ウォンに対して20,000ウォンと30,000ウォンの取消が完了した場合、残高は50,000ウォンです。二件の取消のIDと完了状態を、それぞれ紐づけます。手数料と入金額は、この残高とは別の精算項目として比較します。

差異を許容するのは、根拠のある丸めや通貨単位のルールに限ります。理由のない差異を、少額だという理由で自動で閉じません。ルールごとに適用開始日とバージョン、レビュー担当を残し、変更の前後で同じ元データを使って結果を確認します。

不一致を分類し、根拠を確認します

確認の順序は、資料の収集完了、取引キーの紐づけ、通貨と金額の単位、取引の状態と反映時点です。時点差や手数料の差異も、確認の根拠があってはじめて閉じます。ファイルの欠落や遅延した取消を、自動で解消される項目として扱いません。

不一致の種別	先に確認すること	閉じる根拠
ファイル・照会の欠落	対象期間・収集完了・ページの欠落	元データの補完と再照合
時点差	タイムゾーン・締め・反映予定	次回資料での実際の反映
手数料・為替換算の差異	契約ルール・明細項目・単位	計算根拠と一致結果
取消反映の遅れ	取消ID・状態・精算への反映	完了・控除履歴の紐づけ
実際の状態・金額の誤り	元取引の照会と社内記録	修正・再検証・確認の記録

精算不一致台帳

取引・ルールID	差異・種別・影響	確認担当・期限	処置・終了の証憑
記入例：取消 T-02	取消完了 / 精算の控除は未確認	財務・運用担当に割当	反映資料が到着した後に再照合

未処理の件には、最初の発見日と経過時間を残します。次回に持ち越しても新しい件として登録せず、既存の記録を継続します。繰り返し発生する差異は、元データの収集、ルール、実際の決済処理のうち、どこを直すかを決めます。

症状から始まるランブックを作ります

運用ランブックは、担当者が受け付ける言葉から始めます。「入金額が想定より少ない」「取り消したのに注文が完了と表示される」といった症状に、照会画面と判断基準、処置、引き継ぐ担当者を付けます。金額を動かす処置は、確認と実行を分けます。

精算運用ランブック

ランブックの項目	記録する内容	担当・証憑
症状・適用範囲		
最初に開く画面・照会条件		
判断基準・紐づけルール		
処置・実行前確認		
引き継ぐ担当者・決済事業者の受付経路		
処理記録の場所・終了条件		

> **記入例**
>
> 入金額が精算予定額より少ない場合は、支払IDと、その支払に含まれる取引・手数料・返金の明細を先に照会します。精算の集計範囲と銀行入金の通貨を突き合わせます。説明のつかない差異は、照会の根拠を添えて決済事業者・財務担当に伝えます。

返金や手作業による補正の前に、すでに処理済みかどうかと承認担当を確認します。同じ症状ですでに受け付けた件がないかも照会します。問い合わせの受付と資金の移動を、同じボタンや同じ権限で処理しないよう業務を分けます。

締めとルール変更を記録します

締めは、一致した取引の合計だけでなく、残った差異と繰越の根拠を併せて確認する作業です。通貨別に集計し、未処理の件数・金額・最初の発生日を残します。データが届いていない期間を、差異0として報告しません。

精算締め確認表

期間・決済事業者・通貨	収集・照合の結果	未処理・繰越の根拠	確認担当・日時

照合ルール変更履歴

ルールID・バージョン	変更の理由・内容	適用日・再照合の範囲	レビュー・検証の結果
記入例：R-REFUND v2	取消の事象ごとの識別子に変更	過去の重複候補を再照合	元データと結果をレビュー後に適用

繰越の基準は、金額と経過時間、原因、担当を含めて社内で決めます。同じ繰越が繰り返される場合は、自動で延長せず改めてレビューします。IXCは、T+1時点で差異を説明できるよう、照合ルールとレポート、異常検知ルールを構成します。

> **次の担当に引き継ぐもの**
>
> 元データの収集場所、項目対応表、ルールのバージョン、不一致台帳、受付経路と未処理の件を併せて引き継ぎます。表の場所を伝えるだけで終わらせず、実際の照会と再照合を確認します。

IXC

発行・ご利用について

注文・承認・取消・入金資料のサンプルと現在の締め手順をもとに、共通取引キーと例外処理、レポートを設計します。

IXC Corp.（アイエックスシー）

代表取締役 ナム・ギチョル | 事業者登録番号 109-86-56732
大韓民国 江原特別自治道春川市後石路462番キル7
春川ICTベンチャーセンター4階408号
+82-33-242-0210 | info@ixc.co.kr

www.ixc.co.kr

www.ixc.co.kr/ja/services/reconciliation-automation

www.ixc.co.kr/ja/assets/payments-reconciliation

参考資料

Toss Payments コアAPI：取引・取消・精算の識別子（韓国語）

https://docs.tosspayments.com/reference

Stripe Payout Reconciliation Report

https://docs.stripe.com/reports/payout-reconciliation

PayPal Reports Overview

https://developer.paypal.com/reports/overview

IXC 精算・照合自動化

https://www.ixc.co.kr/ja/services/reconciliation-automation